**仁王門 と仁王像**

金峯山寺の国宝、仁王門は、見るものを圧倒する20メートル以上の高さをもつ二階建ての建築物で、北向きに建っています。乱世の南北朝時代 (1336–1392)に建てられた仁王門は、日本にごくわずかしか現存していない二階建ての門のひとつです。南向きの二天門は焼失したため、金峯山寺に残っているのは仁王門だけです。

門の両側に安置されている約高さ5メートルの守護神の像、金剛力士立像は14世紀頃に制作された重要文化財です。

仁王門は現在、1950年代以来の修復と保全が行われており、2030年頃までは参拝できない可能性があります。